



ニュースレター目次

1 国際化推進室へようこそ！
～スタッフ紹介～ <P1・2>

2 前期交換留学生在が帰国。送別
パーティーを行いました！ <P3>

3 大成功！グローバル学生交流
<P4・5>

4 夏期海外語学・文化研修
交換留学、派遣出発式 <P6>

5 平成22年度第2回
Y&I学生交流事業
「角島行こうぜ」 <P6>

.....

1.国際化推進室へようこそ！

◆国際化推進室はこんなところ

皆さんは国際化推進室へ足を運んで頂いたことがありますか？

もしかしたら、今年入学された学生さんなどは、まだその存在もご存知ない、という方がいらっしゃるかもしれません。

国際化推進室は、山口県立大学内の国際交流の拠点です。留学生との交流に興味のある皆さん、留学に興味のある皆さんは、お気軽に国際化推進室にご相談下さい。



◆新メンバーで頑張っています！

2010年4月より、国際化推進室のスタッフが変更されましたので、改めて紹介いたします。ぜひ私たちに会いに来て下さいね！



写真上段左より ⑤⑥⑦⑧
下段左より ③①②④
(数字の順にひとこと↓)

◆スタッフよりひとこと

①国際化推進室長

シャルコフ・ロバート

国際化推進室が新体制となり、早4カ月。その間、バタバタとラップランド大学との学術交流協定が結ばれ、山口市との交流を深めるためラップランドのロバニエミ市の訪問団が来山され、グローバル交流事業を実施し、そして後期からの留学等の手続きがほぼ終わり、先日海外各地へ派遣する交換留学生、日本語TA、語学文化研修参加者の出発式を行いました。

この4カ月を通して、本学の国際交流事業が旧体制の努力によって大変充実してきたことを実感し、感心しているところです。そして、この実績を踏まえ、どこまで発展及び進展させることができるかが私たち新体制の課題と責任だと感じています。

そのため、

「Ideas」「Innovation」

「Internationalization」という

三本柱を立て、スリーアイ作戦を実施し、本学の更なる国際化に努めて参りたいと思っています。応援及びご協力をお願いします。

②副室長 森近慎治

国際化推進室非常勤職員として週1日(水曜日)勤務しております。国際化推進室は、今年度から全ての留学生の生活支援を担当することとなり、専任職員の充実も図られました。交換留学等を希望される学生さんも気軽に相談においでください。桜翔館2階でお待ちしています。

③ヨーロッパプロジェクトチーム

リーダー 水谷由美子

今まで、ヨーロッパにおける大学交流は2005年にナバラ州立大学(スペイン、パンプローナ市)へ、また2007年にラップランド大学(フィンランド、ロバニエミ市)へ学生とともに訪問し、ファッションショーを実施しました。今年は「サビエルは海から、サンタは空から」と題したファッションショーを実施します。サビエルの航海を山口の海で追体験する為、趣味と実益を兼ねたヨットのセイリング・トレーニングを始めました。

④北アメリカプロジェクトチーム

リーダー ヒギンズ・マリリン

私は北アメリカのプロジェクト・チームリーダーで、人生の半分以上を日本で過ごしてきた“世界市民”なアメリカ人

です。私は今までに26カ国以上の国々に訪れ、様々な文化をもつ人々との出会いを楽しんできました。

趣味は世界中にいる私の友達と文通すること、絵を描くことと(線画と水彩画)です。また今は新しく、中国の楽器である二胡を習っています。

⑤東アジアプロジェクトチーム

リーダー 林炫情

今日、東アジア共同体形成を視野に入れた様々な分野での協力や連携が注目されています。私自身は、主に日本と韓国のことばと文化を中心に対照研究を行っており、そのなかで日本と韓国が東アジアの中で如何なる役割を果たし、どのような可能性を秘めているのかを模索してきました。

これから2年間、本学の東アジアプロジェクトを担当させて頂き、自分自身の資質向上に努めながら、東アジア、特に中国と韓国を中心とした学生・研究員の交流及び学術交流協定校や関係研究機関との共同研究・国際交流が円滑に行えるよう、今後も協力していく所存です。

⑥梶 建次 (スタッフ)

大阪から山口に転居して早2年半。関西圏以外の土地に移り住むことに初めは戸惑いでしたが、今では家族みんなで大満足です。先日も子供たち(男3人)とお風呂に入っていた時に、大きなムカデが現れて家中大騒ぎに。庭にはカエルや蛇、屋根裏では鼠が運動会(猫を飼い始めたのでもう引っ越したようです)。ホテルが家の中に入ってきたことも。何より子供の教育には最高の環境であることを実感しております。

さて、本年度より正式に国際化推進室員となり、まだまだ不慣れではありま

すが、留学生や本学学生が気楽に集えるような室にしていきたいと思います。

⑦黒田 由希子(スタッフ)

私も梶スタッフと同じく、関西から転居してきて、山口の美しさにすっかり惚れ込んでいます!(出身は京都です。ご旅行などの際は、オススメスポットなどご案内しますよ♪)

これまで日本語学校などにも勤務してきましたが、どの分野においても国際化が進んでいるなあということを感じています。学生の皆さんには、どんどん海外に出てグローバルな視点を身につけていただきたいと思いますので、国際化推進室をどんどん活用して下さいね。

⑧岡崎 恭子 (スタッフ)

今年4月から国際化推進室に勤務しています。初めての大学の仕事にとまどいもありましたが、学生の皆さんの明るさとパワーにたくさんの元気をもらっています。

勤務していて嬉しいことの一つは、自信に満ち溢れ満面の笑顔で帰国の報告をしてくれる学生の姿を間近に見られることです。あらためて留学の意味や得るものの大きさを感じます。まずは気軽に国際化推進室に足を運んで、海外への一歩を踏み出してみてください。



国際化推進室

後期のスケジュール

◆10月1日

交換留学、海外語学研修 帰国報告会

派遣先大学からの帰国学生による報告会を実施します。今後、海外留学を考えている方、海外で学ぶことに興味のある方は、ぜひ先輩たちの生の声を聞きに来てください!

【交換留学報告】

カナダ・ビショップス大学

フィンランド・ラップランド大学

【海外語学・文化研修報告】

韓国・慶南大学校

中国・曲阜師範大学

カナダ・ビショップス大学

※開催時間等、詳細は国際化推進室
掲示板にてご確認下さい。

◆10月15日締切

中国交換留学追加募集! 曲阜師範大学・青島大学

【派遣期間】

平成23年3月～平成24年2月

※詳細は国際化推進室掲示板にて
ご確認下さい。

◆カナダ・ビショップス大学 スペイン・ナバラ州立大学 交換留学生募集開始

11月～12月頃、
国際化推進室掲示板及び
ホームページにて
応募告知予定

2.前期交換留学生在が帰国。

送別パーティーを行いました！

皆さんとも楽しい時間を過ごした交換留学生、董書（トウショ）さん、マリ・アラキーニアさん、キャサリン・クラウスさんが前期で帰国いたします。

7月28日には、国際文化学部会議室にて送別パーティーを行い、三島副学長、小田副理事長ほか、ホストファミリー、日本人学生、交換留学生在が約30人集まり、帰国学生と思ひ思ひの時間を過ごしました。

日本での生活はやはり大変なこともあったようですが、3名ともに、充実した毎を送り、たくさんの思い出ができたようです。トウ ショさん、マリ・アラキーニアさんが、その思いを綴ってくれましたので、ご紹介します。

※キャサリン・クラウスさんは帰国前に体調を崩してしまい、残念ながらレポートが間に合いませんでした。



左から、マリ・アラキーニアさん、トウ ショさん、キャサリン・クラウスさん

◆董 書（トウ ショ）

光陰矢のごとし、山口県立大学の一年間の交換留学生生活はもう終わりました。はっきり覚えているのは最初に日本に着いた時、私は不安な気持ちを持って、飛行機から降りました。私にとって、周りのすべては新しいものです。しかし、学校から迎えに来た先生にあった一瞬に安心しました。学校に着きました後、先生は学校のことについて優しく詳し

い説明をしてくれました。先生と学校から紹介してくれた学生チューターのおかげで私はすぐに日本の生活に慣れました。

学校の授業が始まった最初に、全部日本語で授業していて、向こうの学校と全然違う雰囲気ですから私はなんとなくわからないところはいっぱいありました。しかし、担当の先生はいつも優しくて私の近況を聞いてからアドバイスを教えてくれましたから学校の学習生活にもだんだん好きになりました。学校でいろいろな活動を参加できて友達を作りますから全然寂しくなかったです。その以外に日本文化と風習に近づきました。それに、学校から紹介してくれたホームビジットの家族のおかげで日本の家族文化をよくわかることができました。山口県立大学に留学する一年間私はいろいろな知識を学んで、能力もちゃんと鍛錬されて成長します。私は最初に何もわからない子供からだんだん大人になって本当に楽しかったです。

この一年間学校の先生と学生たちのお世話になって本当にありがとうございます。みんなのおかげで私は楽しい思い出を持って帰国できます。山口県立大学に留学した一年間は私の人生の中で大切な経験ですから、この一切を絶対忘れないようにちゃんと覚えています。

◆Mari Elina Ala-Kihni ä (マリ・アラキーニア)

I came to Japan, not knowing what to expect. I had my head full of images about Japan and I couldn't wait to see if they were true or not. The first three days in Yamaguchi were quite chaotic. I didn't know anything and I had no idea what I was suppose to do. Fortunately, the helpful International Office staff was there for us and the

support I got from my tutors was irreplaceable.

During this four months I have learned to see the world differently ,and I believe that no other experience could give me the same kind of understanding than studying abroad.

I'm so glad I have had the possibility to get to know so many wonderful people and making friendships that will hopefully last for a lifetime.

Although I have studied Asian cultures and politics in my home university, living in Japan has really given me a deeper understanding. I have enjoyed having conversations with teachers and friends about cultures, religion, politics and life and I will never forget them. I'm grateful to those who wanted to communicate with me despite the lack of common language. I feel that the English level of Japanese people is good , -- you should just use it!

I want to encourage you all to see the world and learn about it. The world is getting smaller and smaller. Japan may be an island, but it surely isn't alone! Remember, even Finland is only a 9.5hour flight away!

名前／所属大学／留学期間
董 書（トウ ショ） 中国・曲阜師範大学 2009. 10～2010. 9
Mari Elina Ala-Kihni ä フィンランド・ラップランド大学 2010. 4～2010. 9
Catherine Ann Claus カナダ・ビショップス大学 2010. 4～2010. 9



3.大成功！

グローバル学生交流



6月26日(土)から7月17日(土)までの3週間にわたり、グローバル学生交流が開催されました。地域の方々、教職員ほか、多くの皆さまのご協力のもと、無事終了いたしましたことを、心より御礼申し上げます。

今年は中国・曲阜師範大学からの研修生10名、韓国・慶南大学校からの研修生10名、また本学からは、教養科目「国際交流」履修生、日本語講義担当学生合わせて約150名の学生が参加してのプログラムとなりました。さまざまな場面で、3国の学生が協力しあう姿は、とても頼もしい光景でした。豊かな国際交流ができたのではないのでしょうか。

◆グローバル学生交流の主な行事

- ・日本語講義
- ・市内研修
(瑠璃光寺、アーケードなど)
- ・歓迎、送別行事
- ・アイスブレイキング(交流会)
- ・各学部交流(看護栄養学部、社会福祉学部、国際文化学部)
- ・中国語、韓国語授業参観
- ・地域交流(串、徳地青少年自然の家)
- ・日本文化体験(華道、茶道、着付け)
- ・ホームステイ
- ・学校訪問(大嶺小学校)
- ・企業訪問(マツダ防府工場)
- ・スピーチコンテスト

など

◆3週間の集大成！スピーチコンテストより(日本での思い出)

プログラムの集大成「スピーチコンテスト」では、研修生が日本でのこと、将来の夢などを、日本語で一生懸命語りかけてくれました。スピーチの一部ではありますが、ご紹介します。

◆キム ミンジョン(慶南大学校)

3週間の日本での生活で、韓国に帰りたいくらい日本が好きになりました。日本の文化もいろいろならいました。生け花の授業ではなかなかうまくできませんでしたが、先生のお手本を見ながら一生けんめいがんばりました。茶道もやりましたが、韓国式のあいさつが体にしみついていたので、日本の茶道はむずかしかったです。ゆかたを着るのはむずかしかったし、帯も苦しかったです。でもみんなの姿はすごくきれいでした。



◆シャ キンキン(曲阜師範大学)

私はこの3週間で日本人の生活を知ることができました。たとえば、サービス精神です。

朝、よしや旅館のおばさんは朝ごはんを作って私たちを待っています。おばさんは私たちに料理を紹介してくれて、私にわからないことを教えてくれて、いつも手伝ってくれます。とても感動しました。勉強した時、初級クラスの先生はわかりやすく教えてくれて、努力してくれて感動しました。この3週間で、私は日本語にさらに興味がわいて、日本語の勉強をこれからも頑張ろうと思いました。



みんなで、はいチーズ！

徳地青少年自然の家にて

◆ソン ユンジョン(慶南大学校)

山口県立大学の学生だけでなく、中国から来た学生と日本語でしゃべりながら笑えるのは本当におもしろかったです。また小学校で会ったかわいい子どもたちとホームステイ先のやさしいおじいさんとおばあさんのことは忘れられません。もう日本といえば、有名な所や食べ物じゃなくて山口のことが思いうかびます。徳地の森で雨が降る中で聞こえてきたトランペットの音や、学校が終わった後でよく行った足湯は写真を見るたびに思い出すでしょう。

◆オウ ギョウテイ(曲阜師範大学)

一番忘れないことは徳地のオリエンテーリングです。みなさんの協力を通して、私たちのグループは優勝をとりました。楽しみながら、皆で協力することの大切さを感じました。この活動を通して、三大学の学生の友情が、もっと深まったと思います。私たちは交流するためのいい機会を与えてもらいました。



◆パク ジョンジュ（慶南大学校）

日本での思い出は何もかもが生涯忘れられないことばかりで、何から語り始めればいいのか分からないぐらいです。その中で一番記憶に残っていることはホームステイです。ホストファミリーはすごく優しく暖かい人でした。おかげさまでいっぱいいい景色を見て、おいしい物もたくさんごちそうしていただきました。一緒にガーデニングをして、シャワーを浴びてから、プレゼントしていただいた甚平を着て飲んだビールはいつもよりずっとうまかったです。



◆オウ モウモウ（曲阜師範大学）

私は教科書で茶道を勉強したことがありました。すごく簡単だと思っていましたが、自分でやってみると、難しさを理解できました。和室に入ってからふすまの開け方を閉め方とか、たたみのふちを踏んではいけないとかきびしいルールがあります。そして茶道というのは、お茶を飲むことだけでなく「一期一会」というお互いに大切な気持ちを持ちます。もし機会があったら茶道をちゃんと勉強したいです。



◆イ ミヒョン（慶南大学校）

日本に着いてから毎日雨ばかりで大変でしたが、それよりも皆と一緒にいる時間が楽しくて、雨が降っていることなんか忘れてしまうほどでした。

私の日本での思い出は「人」です。人が好きなら、国籍など関係なく私たちは友達になれるでしょう。そしてまた会えるでしょう。韓国に帰ってもこの3週間の記憶を思い出しながら、もう一度会えるためにがんばります。本当にありがとうございました。サランヘヨ。



◆ゴ ギョウリョウ（曲阜師範大学）

みなさんは名僧・鑑真の話を知っていますか。たぶん中国でも日本でも鑑真は有名な人です。私もずっと昔から鑑真の話を知っていました。鑑真が日本へ来たのは、ただ戒を授けるためだけではなく、もっと大切なことは中日両国の文化交流を進めるためだったと思います。嬉しいことに私は交流学生として日本へ来ることができました。ホームステイ先のお父さんに「百聞は一見にしかず」と聞いたように、ここでの3週間は中国の日常生活と違う文化を感じて、毎日感動させられました。



日本語授業の一コマ



韓国語の授業にも参加しました！



大内塗のお箸作りに挑戦！



大嶺小学校を訪問しました。



修了証書授与。3週間がんばりました！

4. 夏期海外語学・文化研修 交換留学、派遣出発式



7月26日(月)、平成22年度「夏期海外語学・文化研修」29名及び、「交換留学生」9名、日本語T A (ティーチングアシスタント) 2名の出発式を開催しました。出発式では三島正英副学長より激励の言葉が述べられ、派遣学生それぞれに派遣証書が授与されました。また派遣学生が決意の言葉を述べ、それぞれの留学への思いを改めて実感しました。

◆派遣決意表明!

決意表明の一部ではありますが、韓国・慶南大学校(海外語学・文化研修)への派遣学生代表、久保田茜さん(国際文化学科3年)の挨拶を紹介します。

『私達、韓国語学研修グローバルハンマ参加者10名は、3週間の慶南大学校での授業を通じ、一人一人が韓国語の能力を高めることを目標に精一杯勉学に励みます。慶南大学校の学生や地域の方々、世界各国から集まるクラスメートとの交流を通じ、自分達から積極的に韓国語で会話をする機会を持ちます。研修旅行や韓国の生活を直接体験することを通じ、韓国文化への理解を最大限深めたいと思います。山口県立大学の代表として派遣していただくことを忘れず、熱心に授業に取り組み、良い成績を残すことを目標に3週間を過ごします』

◆夏期海外語学・文化研修

韓国・慶南大学校 (10名)

H22. 8. 7~H22. 8. 28

中国・曲阜師範大学 (9名)

H22. 8. 28~H22. 9. 22

カナダ・ビショップス大学 (10名)

H22. 9. 5~H22. 9. 27

◆交換留学

カナダ・ビショップス大学 (3名)

H22. 9. 1~H23. 4. 30

スペイン・ナバラ州立大学 (3名)

H22. 9. 1~H23. 6. 30

フィンランド・ラップランド大学 (1名)

H22. 9. 1~H23. 5. 31

アメリカ・センター大学 (2名)

H22. 9. 1~H23. 5. 31

◆日本語T A

(ティーチングアシスタント)

カナダ・ビショップス大学 (1名)

H22. 9. 1~H23. 4. 30

アメリカ・センター大学 (1名)

H22. 9. 1~H23. 8. 31

※ () は派遣学生数

5. 平成22年度第2回 Y&I学生 交流事業「角島行こうぜ」

8月7日(土)、平成22年度第2回Y&I学生交流事業が開催されました。Y&Iは留学生と日本人学生との交流を目的とした事業を企画しており、今回は「角島行こうぜ」と題し、角島へのバスツアーを企画。総勢15名(留学院生4名、留学学部生2名、交換留学生4名、日本人学生5名)が参加しました。

当日は抜けるような青空の下、角島をレンタサイクルでかけ回り、素晴らしい海の眺めを満喫。また、風力発電の風車見学、梨狩りを楽しみ、学生同士の交流も深まったようです。

参加した学生からのコメントを紹介します。

◆田邊 彩華(栄養学科3年)

みんなでサイクリングをして、綺麗な海を見られたことが、楽しかったです。日頃関わることがあまりない方々とお話できたり、自然の中でのんびりとした時間を過ごせたりしたことが、よかったです。しかし、もう少し留学生に積極的に話し掛けることができたならよかったですと思います。またこのような機会があれば、山口県内や近隣の県の観光をしてみたいです。留学生の母国のことについて教えてもらいたいです。

◆姜 宏偉(交換留学/大学院生)

クラスメートや知り合いから、角島はハワイっぽいと聞きましたけど、現場に着いて、やっぱり素晴らしい風景に感心しました。日本の環境にさらに感心しました。ゴミを分類処理することが大切だと痛感しました。今後、もし学生との交流の機会があれば、2人或いは3人のグループにすると、もっと交流できるなあと思います。



【編集・発行】 公立大学法人 山口県立大学 国際化推進室 (桜翔館2階)

〒753-8502 山口県山口市桜島3-2-1

TEL/FAX 083-928-3413 E-mail kokusaika@yamaguchi-pu.ac.jp URL <http://www.ypu.jp/>